ID
氏名

年齢
科名　　病棟

IGEV 療法

3 週毎　　コース予定

疾患名　悪性リンパ腫

主治医　　指導医　　HBs 抗原(＋ －) HBc 抗体(＋ －) HCV 抗体(＋ －)

スケジュール

		day1	day 2	day3	day4
プレドニン(プレドニゾロン)	100 mg/body	↓	↓	↓	↓
ロゼウス(ビノレルビン)	20 mg/ m^2	↓			
ゲムシタビン	800 mg/ m^2	↓			↓
イホマイド(イホスファミド)	2 g/ m^2	↓	↓	↓	↓
ウロミテキサン(メスナ)	400 mg/m^2/回	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓

【注意】＊ 1 日の尿量が 3000mL 以上になるように化学療法開始前日より輸液を行う。
＊ 輸液にメイロンを混注して尿量を確保する。
＊ イホスファミド投与時は出血性膀胱炎予防目的でウロミテキサン(メスナ)を投与する。
ウロミテキサンの 1 回投与量は(mg)は、イホスファミド1日投与量(mg)の 20%量とする。
ウロミテキサンの静注は、イホスファミド投与時、4 時間後、8 時間後の 3 回行う。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

day1

① 生食 500mL にて血管確保　　維持(20mL/時間)

② ソルデム 1 500 mL ＋ メイロン 40 mL　　点滴静注(100 mL/時間)

③ プレドニン 100 mg ＋ 生食 50 mL　　点滴静注 5 分(600 mL/時間)

④ グラニセトロン内服ゼリー (2mg)　1 包　　内服

⑤ ロゼウス　＋ 生食 50 mL　　点滴静注 5 分(600 mL/時間)

⑥ ゲムシタビン　＋ 生食 100 mL　　点滴静注 30 分

⑦ イホマイド　＋ 生食 500 mL　　点滴静注 120 分(250 mL/時間)

⑧ ウロミテキサン　　側管静注　⑦開始時

⑨ ソルデム 1 500 mL ＋ メイロン 40 mL　　点滴静注 (100 mL/時間)

⑩ ウロミテキサン　　側管静注　⑦を開始した 4 時間後

⑪　ウロミテキサン　　側管静注　⑦を開始した 8 時間後

day2, 3

① 生食 500mL にて血管確保　　維持(20mL/時間)

② ソルデム 1 500 mL ＋ メイロン 40 mL　　点滴静注（100 mL/時間）

③ プレドニン 100 mg ＋ 生食 50 mL　　点滴静注 5 分(600 mL/時間)

④ グラニセトロン内服ゼリー（2mg）　1 包　　内服

⑤ イホマイド　＋ 生食 500 mL　　点滴静注 120 分(250 mL/時間)

⑥ ウロミテキサン　　側管静注　⑤開始時

⑦ ソルデム 1 500 mL ＋ メイロン 40 mL　　点滴静注（100 mL/時間）

⑧ ウロミテキサン　　側管静注　⑤を開始した 4 時間後

⑨ ウロミテキサン　　側管静注　⑤を開始した 8 時間後

day4

① 生食 500mL にて血管確保　　維持(20mL/時間)

② ソルデム 1 500 mL ＋ メイロン 40 mL　　点滴静注(100 mL/時間)

③ プレドニン 100 mg ＋ 生食 50 mL　　点滴静注 5 分(600 mL/時間)

④ グラニセトロン内服ゼリー（2mg）　1 包　　内服

⑤ ゲムシタビン　＋ 生食 100 mL　　30 分で点滴静注

⑥ イホマイド　＋ 生食 500 mL　　点滴静注 120 分(250 mL/時間)

⑦ ウロミテキサン　　側管静注　⑥開始時

⑧ ソルデム 1 500 mL ＋ メイロン 40 mL　　点滴静注(100mL/時間)

⑨ ウロミテキサン　　側管静注　⑥を開始した 4 時間後

⑩ ウロミテキサン　　側管静注　⑥を開始した 8 時間後

コース				
	day 1	day 2	day 3	day 4
月日	/	/	/	/
プレドニン 開始時刻	↓	↓	↓	↓
ロゼウス 開始時刻	↓			
ゲムシタビン 開始時刻	↓			↓
イホマイド 開始時刻	↓	↓	↓	↓
ウロミテキサン 開始時刻(1 回目) 開始時刻(2 回目) 開始時刻(3 回目)	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓
確認				

コース				
	day 1	day 2	day 3	day 4
月日	/	/	/	/
プレドニン 開始時刻	↓	↓	↓	↓
ロゼウス 開始時刻	↓			
ゲムシタビン 開始時刻	↓			↓
イホマイド 開始時刻	↓	↓	↓	↓
ウロミテキサン 開始時刻(1 回目) 開始時刻(2 回目) 開始時刻(3 回目)	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓
確認				